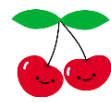




さくらんぼ



自ら動き、感じ、楽しむ
～笑顔あふれる幼稚園～

NO. 2 令和元年5月28日発行
山口大学教育学部附属幼稚園
URL: <http://www.ymg-kg@yamaguchi-u.ac.jp>

今月は気持ちの良い気候の中、戸外に出てたくさん遊んだり、子どもの日のお祝いや親子遠足などの行事も楽しんだりしました。また、家庭訪問ではみなさんのご家庭にお邪魔しました。ご家庭の周りの様子など実際に見ることで、子どもたちが話すおうちの様子とつながったり、想像しやすくなったりします。ご協力ありがとうございました。

今回は親子遠足やこの頃の子どもの様子をご紹介します。

いよいよ全員登園！花組さん

約3週間の半数登園が終わり、いよいよ花組22名全員の登園が始まりました。おうちの方々のご協力のおかげで、子どもたちは少しずつ園での生活にも慣れてきました。この1か月間は楽しみながらも、様子を見つつ過ごしていた子どもたちも多かったようです。1カ月経ち、段々と子どもたちの表情もほぐれ、いろいろな顔を見せるようになりました。笑顔で楽しめることはもちろんですが、泣いたり怒ったりいろいろな思いを園でも出せるようになってきたことに、私たちは嬉しく思っています。日々過ごしていく中で、少しずつ“自分の幼稚園”になってきて「幼稚園って楽しいな♪」と思えてきているようです。

幼稚園が少しずつ自分の居場所になってきた子どもたちは、園で遊ぶことも楽しくなっています。4月は「ダンゴムシどこかな～？先生探して。」と言っていたKくんも、今では「ダンゴムシはね、この下におるよ。先生これ（プランター）どけて！」と自分からダンゴムシの居場所を覚えて探し回るようになりました。Rくん、Sくんも一緒に牛乳パックでつくった入れ物にダンゴムシをたくさん集めて、満足気に保育者や友達に見せに来ていました。「今日もダンゴムシ捕まえよう！」と幼稚園に来ることが楽しみになっている姿に嬉しく思います。

また、園庭にはおいしそうなお果実も実り始めました。星組のお兄さんとお姉さんが採ってきてくれたサクランボ、花組のプランターに実っているイチゴ、花組の裏の木にはグミの実…。段々赤くなる実を見つけ、おいしそうに口に頬張る子どもたち。グミの実を食べたAくんは「先生、今日はもうおやつ食べたよ。今日のおやつはいらないよ。」と満足そうに保育者に伝えに来ました。果物が苦手だと聞いていたOちゃんも、隣で友達がイチゴをとって食べている姿を見



て、「Oちゃんもほしい。」と言って小さなイチゴを手に取りました。ペろりとなめてみましたが、やっぱり苦手だったようです。でも、食べてみようかなと思った気持ちが嬉しいですね。

これからも幼稚園でいろいろなものに出会う中で、やってみようかな！楽しそうだな！という思いをたくさん育てていきたいと思っています。22名になったパワフルな花組を、これからもよろしくお願ひいたします。（高橋）

たのしかったね！親子遠足 風組さん

親子遠足の前日、グループのみんなで隠れている先生たちを探しに行くことを知り、「え！維新公園で先生が隠れるの！」と楽しみのレベルが一ツ上がったAくん。同じグループになった友達を集めて「えいえい、おー！」と円陣を組むBちゃん。「お母さんと一緒にお弁当食べる。」「おやつ持って行く～」と花組だった時の親子遠足を思い出したCちゃんとDくん。



それぞれが楽しみを膨らませて迎えた当日は、特別な一日の始まりにぴったりのとてもいいお天気でした。チェックポイントで待つ身としては、「あ！先生み～つけた～」と走ってくる星組さん、おうちの人と手をつないで幸せそうに歩いてくる花組さんを迎え入れ、風組のみんなはどんな登場をするのかなとワクワクしていました。グループの友達と一緒に「先生や～！」とニコニコしながらやって来る子どもたちと、その後ろを見守りながらついて来てくださるお母さんたち…。どのグループも年中さんのこの時期らしい姿での登場で、見ていて温かい気持ちになりました。

グループのみんなと一緒にゴールし、友達やおうちの人と一緒においしいお弁当を食べ、元気をチャージしたら維新公園が一気にいつもの幼稚園に早変わり。「つかまえにおいで！」の一言からおいかけこの始まりです。いっぱい走って力がなくなると「このお肉食べてみて～」と小枝に葉っぱを刺してつくった特製のお肉でバーベキュー。「これも食べて～。力がなくなるお肉でした～」と追いかけて来る人の力を弱める策士はEくん。「これは力が出るお肉だから大丈夫。」と応援してくれるFくん。いろいろなアイデアで遊びが盛り上がりました。ほかに星組さんと一緒に、「だるまさんがころんだ」をしたり、友達のお父さんやお母さんと走り回る姿がみられました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、楽しい特別な一日が終わりました。

自分の好きな遊びをする中で、友達と関わりが増えていき、仲良くなったり、友達の輪が広がったりするといいなと思います。今回の親子遠足で、また少し友達との距離がと近づいたように感じます。

（中原）

たのしそう！やってみたい！星組さん

星組になって2ヶ月が経ちました。グループ活動をしたり、農場に行ったりして、子どもたちは少しずつ星組の生活に慣れてきました。遊び

の中で少しずつ自分の思いが出せるようになってきた星組さん。思いの行き違いもありますが、友達の思いを受け入れたり、折り合いをつけたりしながらかかわりを楽しんでいます。

ゴールデンウィーク前には、大きなこいのぼりをつくりました。鱗を墨汁で描き、その中にクレパスで好きなものを描き、絵の具で色をつけました。大きな紙に子どもたちは大喜びで、思い思いに自分の好きなものを描いていました。そして、出来上がったこいのぼりをみんなで持ち、風組さん・花組さんにお披露目をしました。そのときの子どもたちの自信に満ち溢れたような顔はとても素敵でした。年長さんだからこそできる体験を通して、少しずつ自信をつけて成長していくのだなと感じたひとときでした。その後もお天気の日には、こいのぼりが上がり、青空の中を泳いでいる姿を嬉しそうに見ていました。



ゴールデンウィーク明け、子どもたちの様子はどうか？と心配していましたが、長い連休があったにも関わらずすぐに遊び始める星組さん。おうちの人と「いってきます！」と笑顔で離れている姿を見て、星組になり体も心も大きくなったんだなと感じました。「僕はハウステンボスで巨大ガチャガチャをしたんだよ。」とAくん。「え？どのくらいの大きさやったん？」「くら寿司のより大きい？」とMくん。「やってみたい！つくってみようや！」とOちゃん。話の中で、子どもたちの休日のできごとから巨大ガチャガチャをつくることになりました。「段ボールとってこよう！おーきいやつね！」「わたし、おかねつくる！」「ガチャガチャの入れものどうしたらいいかな？」と、子どもたちは今までの遊びの経験から廃材を使ってどんどんつくっていきます。準備が終わりそうになった頃、「はなぐみさん呼びにいこう！」「みんな、行くよ！」とみんな花組さんを呼びに行こうとする姿が見られました。花組さんが遊びに来ると少しかがんで目線を合わせながら話そうとするKくん。「こっちから並ぶんだよ」とやさしく手を繋いで招待するTちゃん。一番大きい組になったことに自覚と自信をもち、小さい組の人にやさしくしようとする姿を見てほほえましく感じました。

遊びが終わるころ、「お客さんいっぱい来てくれたね。そういえば、わたしの家にガチャガチャの入れるやつ（カプセル）があると思うから月曜日もってくる。」とUちゃん。そして、休日空けた月曜日にしっかり覚えていて「せんせい！！ガチャガチャのカプセルを持って来たよ！」と、大切そうに持って来て見せてくれました。その姿をみて、「わたしも、おうちでさがしてあした持って来る！」とYちゃん。

前の日にした遊びを覚えていて、幼稚園から帰ってから遊ぶものを探したり、次の日の遊びを楽しみにしながら幼稚園に来たりする姿も見られるようになってきました。遊びが、子どもたちの中でどんどん“みんなでおもしろい大切なもの”になってきているのだなと嬉しくなりました。これからどんな星組さんになっていくのか今後の成長が楽しみです。

（福田）

編集担当：高橋